

マタイ 43

主の祈りを 私の祈りに

マタイ福音書17:14～27

てんかんの子の癒やし

アウトライン

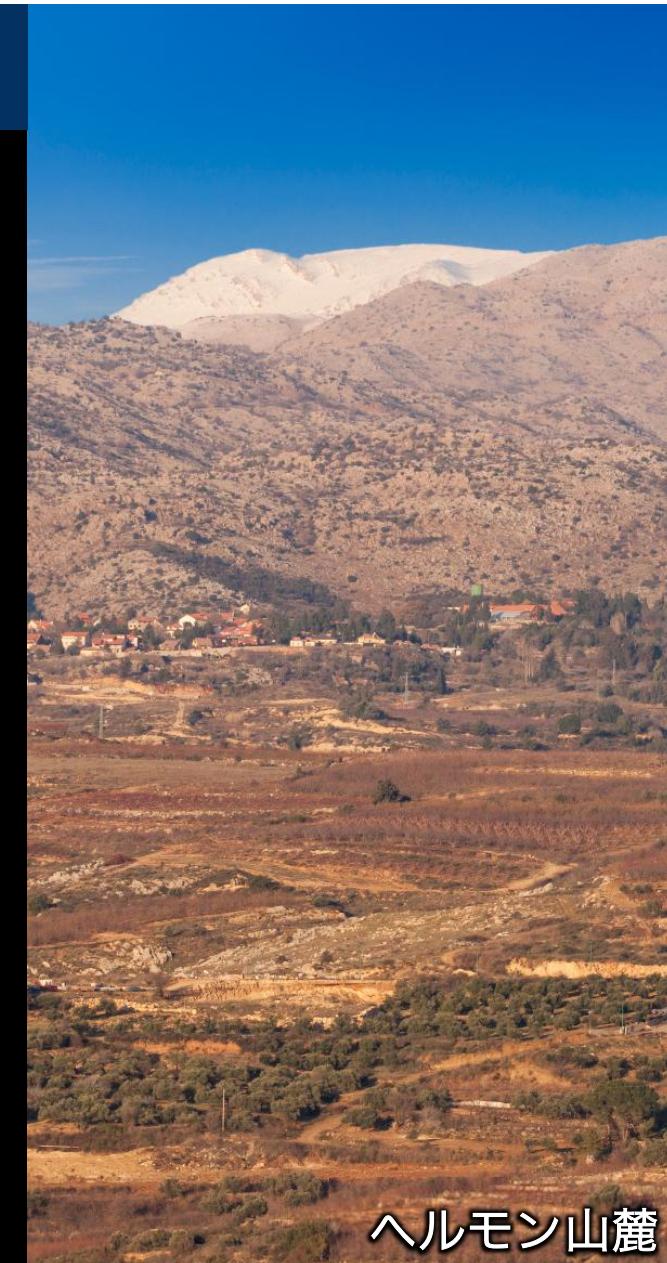
0. イントロダクション

I. てんかんの子の癒やし 17:14~20

II. メシアと神殿税 17:22~27

III. まとめと適用

主の祈りが私の祈りになるように





0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)



バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始

メシア的奇跡

安息日論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

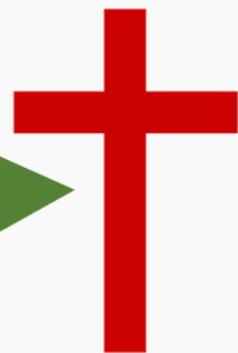
山上の変容

ペトロの信仰告白

エルサレム入城
最後の弟子訓練

最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落



メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 主イエスは、**教会**の礎を築き始められている
→訓練された使徒たちが、**教会**の土台に!!
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。
- 命を狙われ、イエスは各地を巡りつつ教えられた。
→弟子訓練もいよいよ終盤に!!

メシアが選んだ十二弟子は、イスラエル代表

歴史的信仰告白 山上での変容 を経て

- ①「あなたは生ける神の子キリストです」
→聖靈による、ペテロの歴史的信仰告白
- ②最初の十字架の死と復活の受難の予告
→無理解なペテロへ、「さがれ、サタン」
- ③山上でのイエスの変容・栄光の顯現
→間近に迫るのは受難。際立つ弟子の無理解。

メインテーマ：メシアの受難

裏テーマ：弟子の無理解



I. てんかんの子の癒やし

マタイ福音書17:14~20

ゴラン高原とヘルモン山

本編

麓で マタイ17:14

彼らが群衆のところに行くと、一人の人がイエスに近寄って来て御前にひざまずき、こう言った。

「さて、彼らがほかの弟子たちのところに戻ると、大勢の群衆がその弟子たちを囲んで、**律法学者たち**が彼らと論じ合っているのが見えた。マルコ9:14」

■ イエス不在の間に、**律法学者**が、癒やせない弟子たちをなじっていた。



下界で貶められる
メシアの権威

ヘルモン山麓

本編

てんかん マタイ17:15

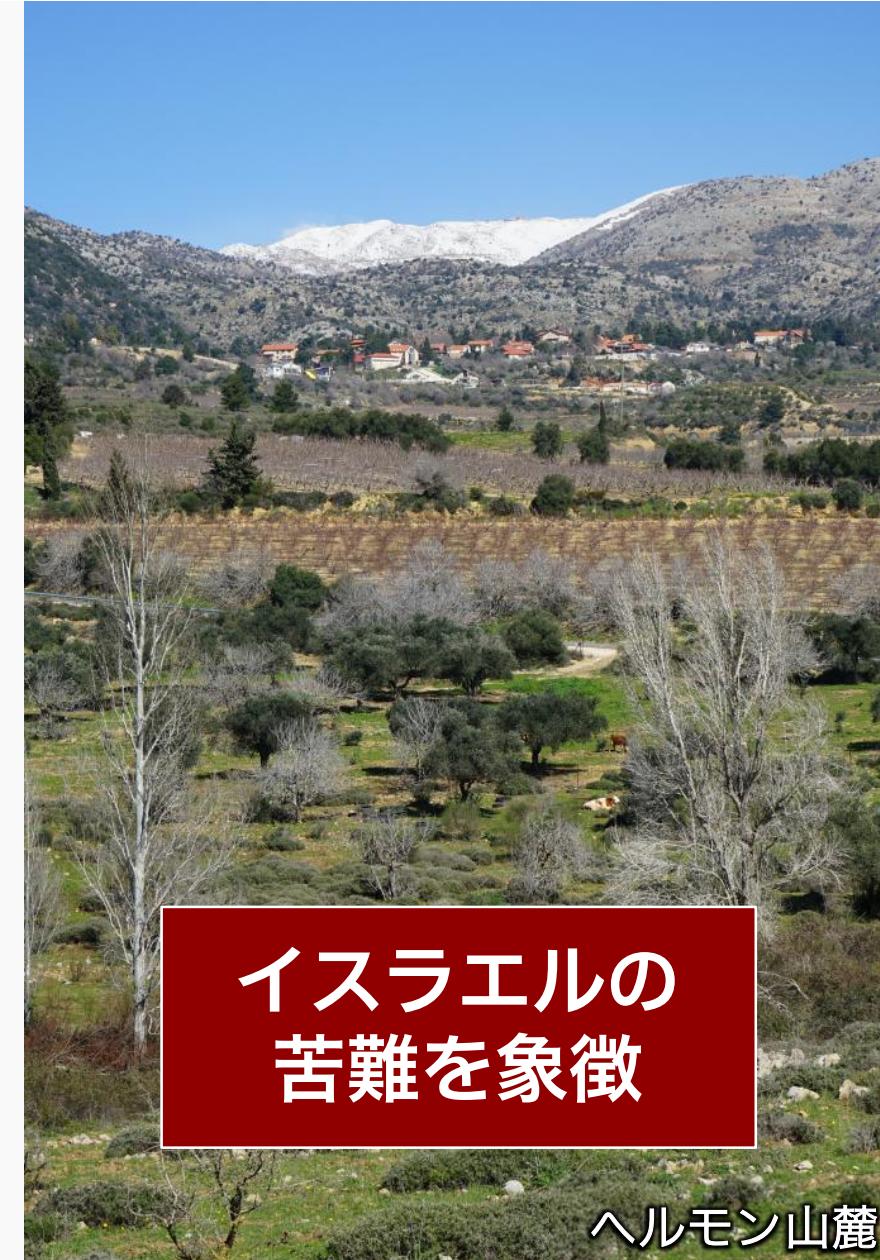
「主よ、私の息子をあわれんでください。
てんかんで、たいへん苦しんでいます。
何度も火の中*に倒れ、また何度も水の
中*に倒れました。」

*苦難の極み …最も困難な裁きも

「先生。口をきけなくする靈*につかれた
私の息子を、あなたのところに連れて来
ました。マルコ9:17」

*最も困難…悪靈の名を聞き出せない

■ 症状はてんかん。原因は悪靈。



本編 弟子たちの失敗 マタイ17:16

そこで、息子をあなたのお弟子たちのところに連れて来たのですが、治すことができませんでした*。」

*十二弟子は、悪霊を追い出す権利を
イエスに与えられていた。

「悪霊どもを追い出しなさい(10:8)」

■与えられていたのにできないのが問題。

不信仰ゆえに主の権威を示せないイスラエル



本編

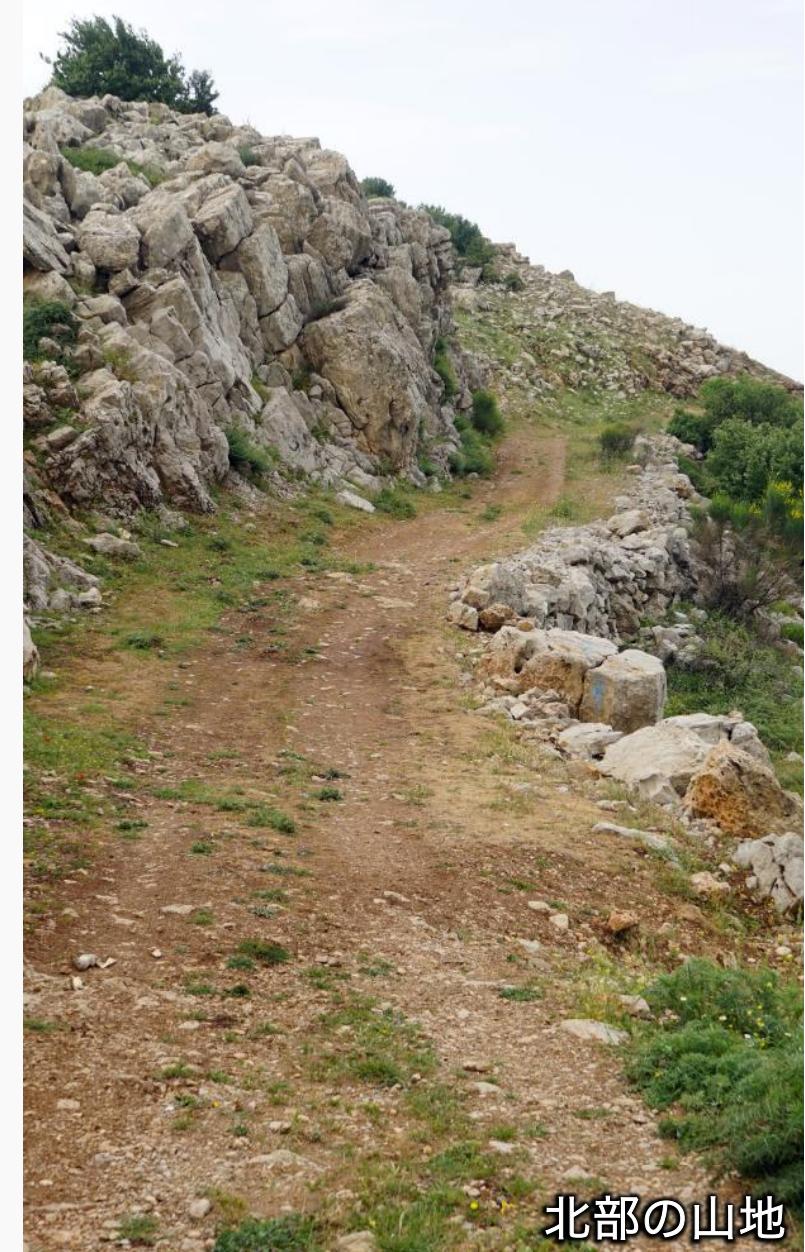
神の忍耐 マタイ17:17

イエスは答えられた。「ああ、不信仰な曲がった時代だ。いつまで**あなたがた**と一緒にいなければならぬのか。**いつまであなたがたに我慢しなければならぬのか***。その子をわたしのところに連れて来なさい」

*不信仰のイスラエル 申命記 32:5

「自分の汚れで主との交わりを損なう、主の子らではない、よこしまで曲がった世代」

■不信仰なイスラエルを忍耐し続けた、
神の視点で語られるイエス。



北部の山地

本編

てんかんの子の癒やし 17:18

そして、イエスがその子をお叱りになると
悪霊は出て行き、すぐにその子は癒やされた。

■ 口をきけなくする悪霊の追い出し。

→最難度のメシア的奇跡を簡単に。

■ 父親の信仰ゆえの癒やし マルコ9:24

「信じます。不信仰な私をお助けください」



北部の山地

本編

弟子たちの質問 マタイ17:19

それから、弟子たちはそっと*イエスのもとに来て言った。「なぜ私たちは悪霊を追い出せなかつたのですか。」

*恥じ入っている弟子たち

→以前にはできたのに、なぜ？

■最初の派遣の時にはあった主への信頼

→成長していない

イエスの歩みについていけてない
むしろ受難を理解することを拒絶



北部の山地

本編

信仰の力 マタイ17:20

イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに言います。もし、からし種ほどの信仰があるなら、この山に『ここからあそこに移れ』と言えば移ります。あなたがたにできないことは何もありません。」

- 主の御心を自分の心とするのが、信仰。
→御心に適った願いは、必ず実現する
- 祈りで求められるのは熱心さではない。
→主の御心と一致する正確さ



本編

祈りと断食 マタイ17:21

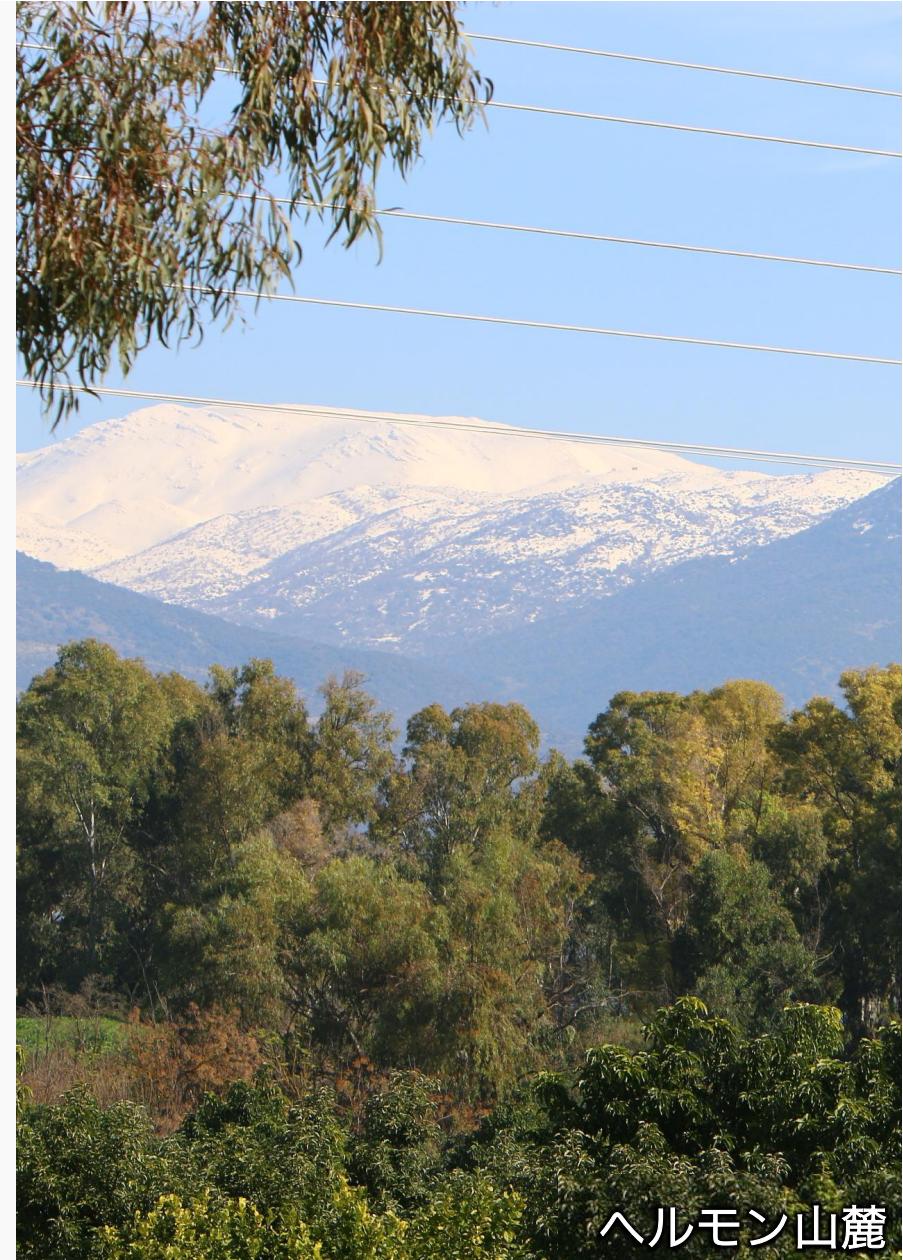
「ただし、この種のものは、祈りと断食によらなければ出て行きません」

*17:21は、後代の写本に付加。

…後の時代に付け加えられた？

■ 断食とは、食に関する時間すら、
祈りに割くこと。

■ 断食を伴う祈りとは、全身全霊で
御心を聞き取ろうとすること。



ヘルモン山麓



II. メシアと神殿税

マタイ福音書17:22～27

ガリラヤ湖

本編 二度目の受難予告 17:22~23

彼らがガリラヤに集まっていたとき、イエスは言わされた。「人の子は、人々の手に渡されようとしています。

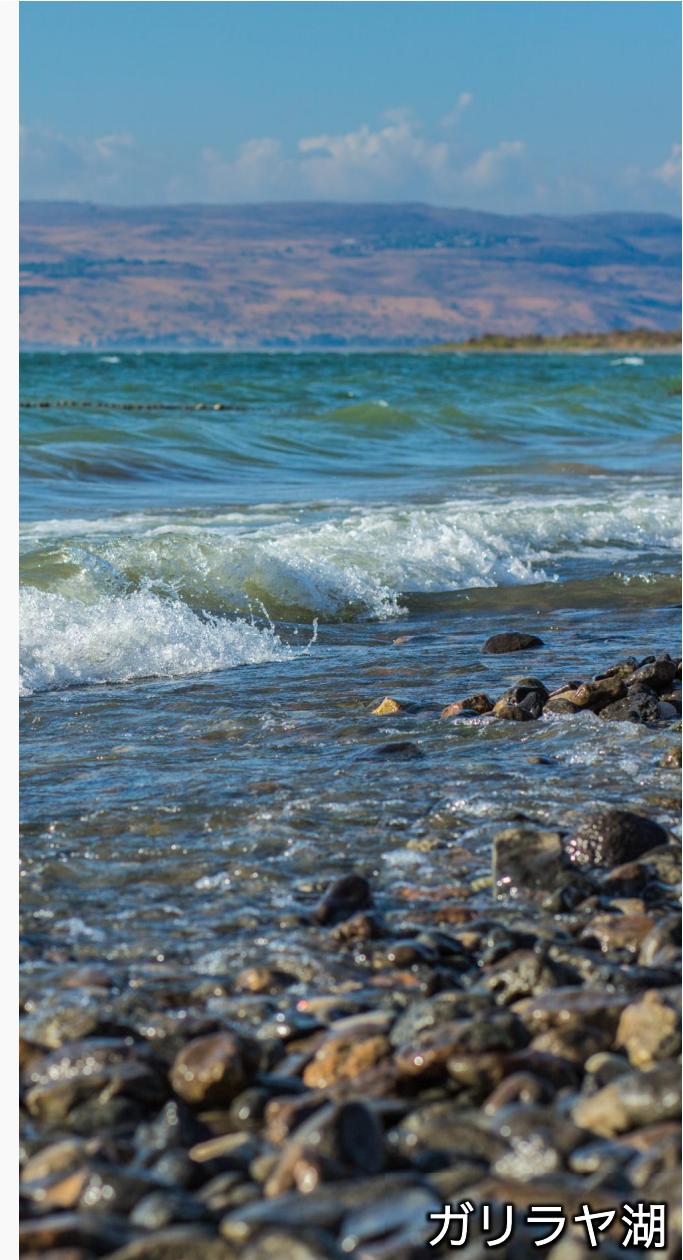
人の子は彼らに殺されるが、三日目に よみがえります。」すると彼らはたいへん悲しんだ。

「しかし、弟子たちにはこのことばが理解できなかつた。また、イエスに尋ねるのを恐れていた。

マルコ9:32」

■久々のガリラヤでの、二度目の受難予告

→無理解なままの弟子たち 学んでない!!



ガリラヤ湖

本編

カペナウムで マタイ17:24

彼らがカペナウムに着いたとき、**神殿税***を集めの人たちがペテロのところに近寄つて来て言った。「あなたがたの先生は**神殿税**を納めないのでですか。」

*律法の登録税(出30章)が起源？！

…登録税(1/2シェケル)。幕屋建設費に。

…捕囚後は、**神殿税**(1/3シェケル)

(ネヘミヤ10:32)

…この時代、1/2シェケル



本編

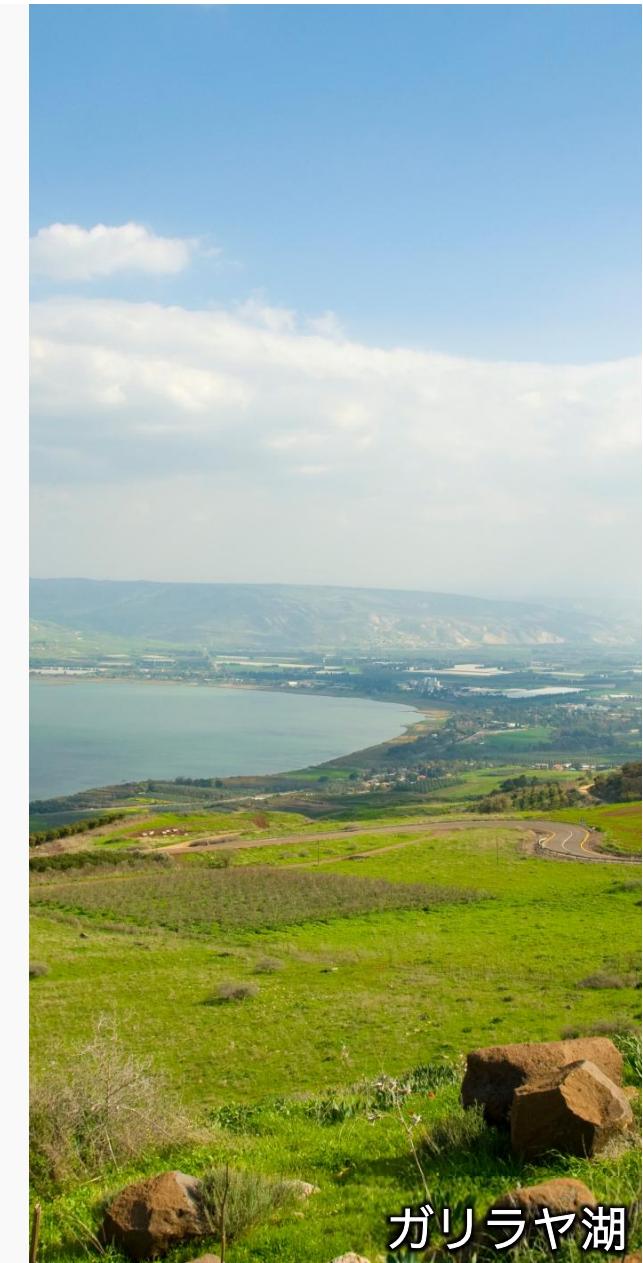
納稅の義務 マタイ17:25~26

彼は「納めます」と言った。そして家に入ると、イエスのほうから先にこう言われた。「シモン、あなたはどう思いますか。地上の王たち*はだれから税や貢ぎ物を取りりますか。自分の子たち*からですか、それとも、ほかの人たちからですか」

ペテロが「ほかの人たちからです」と言うと、イエスは言われた。「ですから、子たちにはその義務がないのです*。」

*ローマ皇帝

*ローマ市民は、ユダヤの神殿税の納付義務なし



ガリラヤ湖

本編

イエスの命令 マタイ17:27

しかし、あの人たちをつまずかせないために、湖に行って釣り糸を垂れ、最初に釣れた魚を取りなさい。その口を開けるとスタテル銀貨一枚*が見つかります。それを取って、わたしとあなたの分として納めなさい。」

*ユダヤ銀貨で1シェケル(神殿税2人分)

1スタテル=4デナリ(日給4日分)

■神の国の民である神の子と子たちには、本来、地上の権威への納稅義務はない。

→つまずかせない。権威への従順



神の権威は
神の方法で示される

ガリラヤ湖

III. まとめと適用

主の祈りが私の祈りになるように

ガリラヤ湖



文脈で確認 てんかんの子の癒やし

- ①メシアは悪霊追い出しの権威を十二弟子に与えていた。
→最初の派遣の時(マタイ10:8)
- ②メシアは不在でも、癒やしはできるはずだった。
→信仰を試されていた留守番組
- ③弟子たちは癒やせなかった。
→原因是不信仰 →受難予告の拒絶が信仰の後退に

なぜ受難が受け入れられなかつた？

■弟子たちの願いと違いすぎた!!

→弟子たちが待望していたのは、王なるメシア

■御言葉よりも、自分の願望、感情が第一に!!

■私たちは？ 取り次がれる御言葉をどう受け取ってる？

「厳しい」「難しい」 →自分の感情で判断していないか？

自分の主張を、正確に御言葉から裏付けできる？

弟子たちは何を拒絶していた？

①敬愛するイエスの苦しみ

→「そんなことが」 想像もしたくない師の苦しみ。

②人の罪の重さ

→罪なき御子を犠牲にするしかないほど

③神の怒りの厳しさ、激しさ

→御子を十字架で死なせなければならぬほど

私たちが心を閉ざすとき

- 「受けいれられない」 → 極まって拒絶に至る私たち
→ 拒絶されて、拒絶に至る
- 本当は、拒絶しているのは私ではないか？
→ 自分のお心に合わない、主の御心を拒絶している
- 御言葉の解き明かし。第一に求められるのは、正確さ。
→ 人間的な配慮は、神の意図を歪めかねない
→ 骨抜きの説教。聴衆への忖度に慣れきってないか？

からし種一つほどの信仰があれば…

■ 熱心に祈れば願いは叶う？

間違い

…毒麦の種からは、毒麦しか実らない

■ 大切なのは、御心に適った正確さ

→御心と一致した祈りは、必ず適う

■ サタンの巨大な地上の権威の滅びを願うなら？

→主の日には山も揺れ動く。栄光の主が滅ぼされる。

受難のメシアは受け入れた その次は？

- 弟子たちが拒んだ受難のメシアを私たちは受け入れた。
 - 十字架の死と復活の結末を知らされて
(圧倒的なアドバンテージ)
 - 誇れはしない。主の恵みのゆえ。

では、私たちは
再臨のメシアをどれほど受け入れているのか？

裁き主なる再臨のメシア

■義をもって裁き 戦われるイエス 默示録19:12～15

その目は燃える炎のようであり、その頭には多くの王冠があり、ご自分のほかはだれも知らない名が記されていた。

その方は**血に染まった衣**をまとい、その名は「神のことば」と呼ばれていた。天の軍勢は白くきよい亜麻布を着て、白い馬に乗って彼に従っていた。

この方の口からは、諸国の民を打つために**鋭い剣**が出ていた。**鉄の杖**で彼らを牧するのは、この方である。また、全能者なる**神の激しい憤り**のぶどうの踏み場を踏まれるのは、この方である。

★ 主の祈りを私の祈りに ★

- 受難を経て贖罪を成し遂げられた主イエスは、王の王、主の主なる裁き主として再び来られる。全地を裁き、永遠の滅びと永遠の救いをもたらされる。
- 私たちは再臨のメシアを受け入れているだろうか。主の愛と共に、義と厳しさを受け入れているだろうか。御前に立つ時が、信仰の報いを得る時となるように、柔軟にへりくだって、主の御心に聞き従っていこう。

御心を聴き、主の約束の実現をこそ祈り求めよう!!

てんとうわたしつみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたしかみこしゅ
「私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたしつみあがなじゅうじかし
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はかほうむ
②墓に葬られ、

みっかめふっかつしん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたしふくいんういえいえんいのちえ
「私たちは、福音を受け入れて、永遠の命を得ました。

みくにほうしゅうえみこころきしたがあゆ
「御国への報酬を得られるように、御心に聞き従って歩みます。

しゅいのわたしいのわたしつか
「主の祈りが私の祈りとなりますように。私を遣わしてください。

かんしゃしゅないの
「感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」